

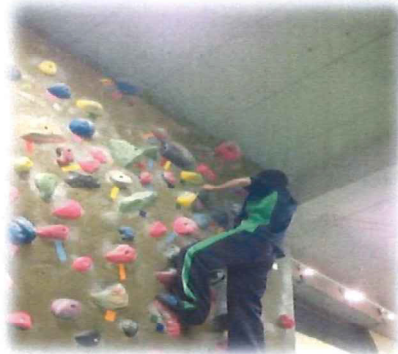
# 登って彩るまちづくり

～人が登れば、人が集まる～



埼玉県庁舎

パズルを紐解くように考えながら登ったり、友達と楽しみながら登ったり、人それぞれの様々な目的や楽しみ方があるのがクライミングの魅力です。



# 1. 着想

現在、日本では多くのコンクリートの建物が溢れています。

そこで、この見慣れたコンクリートの建物をまちづくりに活

用する方法を考えてみました。

# 2. 提案

コンクリートの建物が周りの環境に対して落ち着いた色で

あることに着目しました。もし、そこに明るい色を灯すこと

ができたなら人は興味をもち惹かれていくのではないかと

思いました。

# 3. 展開

明るい色を灯すには、クライミングで使われるクライミング

ホールドを設置するのが面白いと感じました。身近な場所で

クライミングができれば、特色がないと思われていた場所

にも価値が生まれ、人が自ら近くに寄ってくることで交流の場

も生まれ、明るく人が集うまちを実現できるはずです。

## 4. 目標

クライミングの登りきったときの達成感や頭と体がシンクロしたときの爽快感を伝えられるまちを目指します。埼玉県庁舎のある埼玉県さいたま市の浦和区の人口約15万人の1%にあたる1500人が、休日にこの場所に集まり子供も大人も楽しめるまちとして拡大していけたらと思います。

## 5. 結び

人がクライミングを身近で体験できれば、埼玉県のクライミング発祥の地として「登るまち」が人のつながりをつくり、まちを活性化させることを期待します。新しいまちづくりとして人が登れば、人が集まるまちというのはいかがでしょうか。